



HiT ODBC400 のインストール・設定手順書

Ver 1.0

2009 年 09 月 08 日

株式会社クライム

目 次

1. はじめに.....	2
1.1. 本ドキュメントについて.....	2
1.1.1. 対象範囲	2
2. インストール手順	3
2.1. 設定手順	3
3. システムデータソースへの追加手順	8
3.1. 設定手順	8
4. 接続方法.....	11
4.1. 設定手順	11
5. 設定方法.....	13
5.1. 設定手順	13
5.1.1. デバック機能について.....	13
5.1.2. パッケージについて	15
5.1.3. グローバルトレースログについて	16

1. はじめに

1.1. 本ドキュメントについて

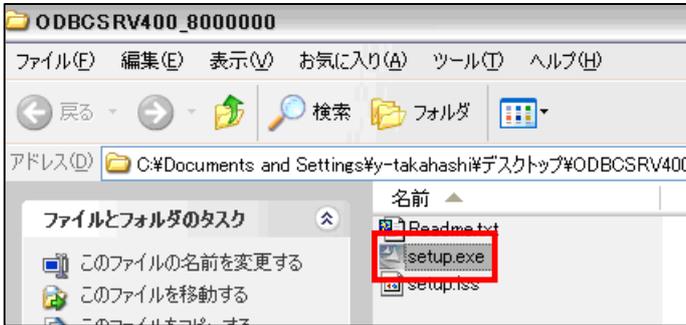
1.1.1. 対象範囲

本ドキュメントは、HiT ODBC のインストール、設定方法について記載してあります。

2. インストール手順

2.1. 設定手順

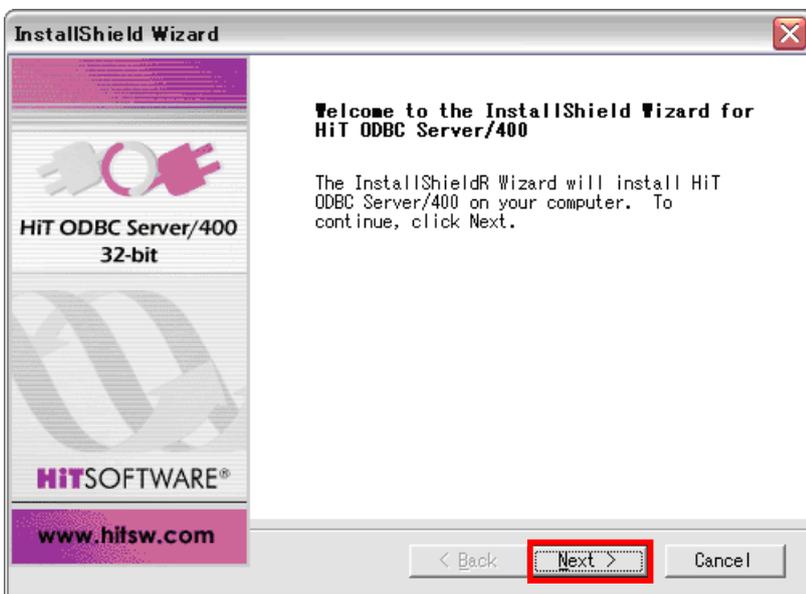
① Setup.exe をクリックします。



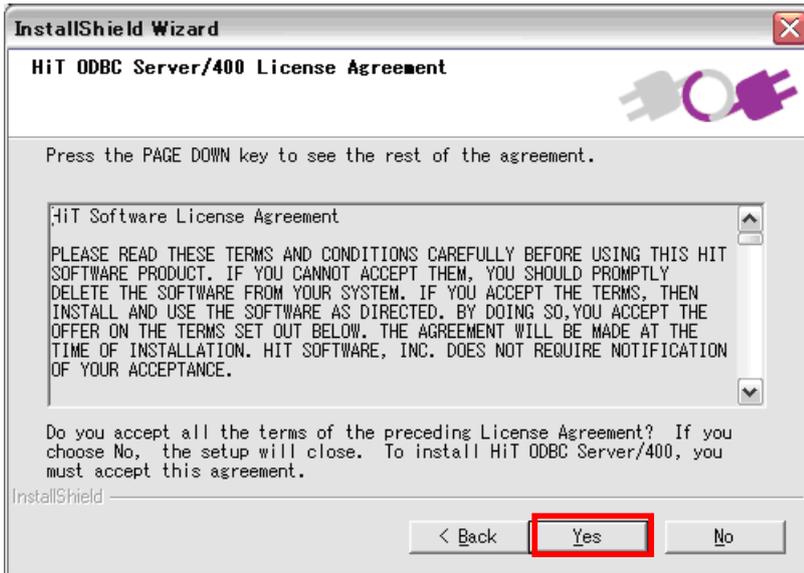
② 次のダイアログが表示されます。



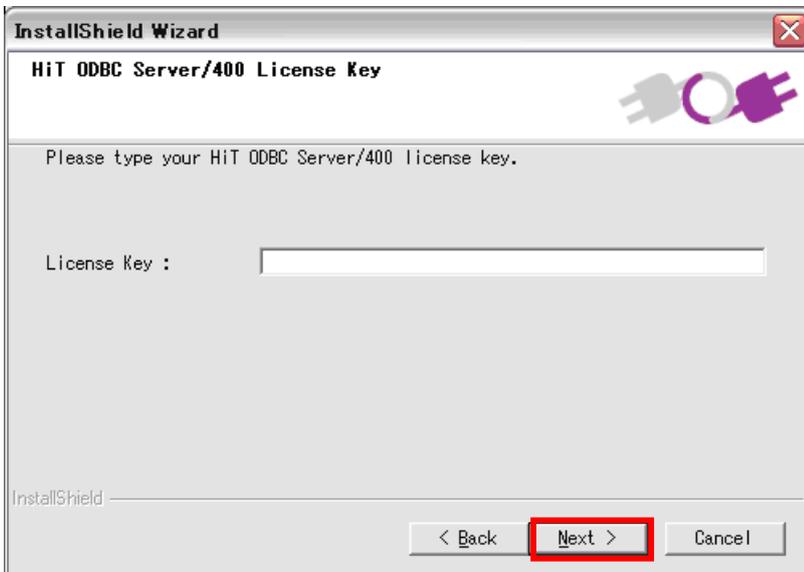
③ 「Next」 をクリックします。



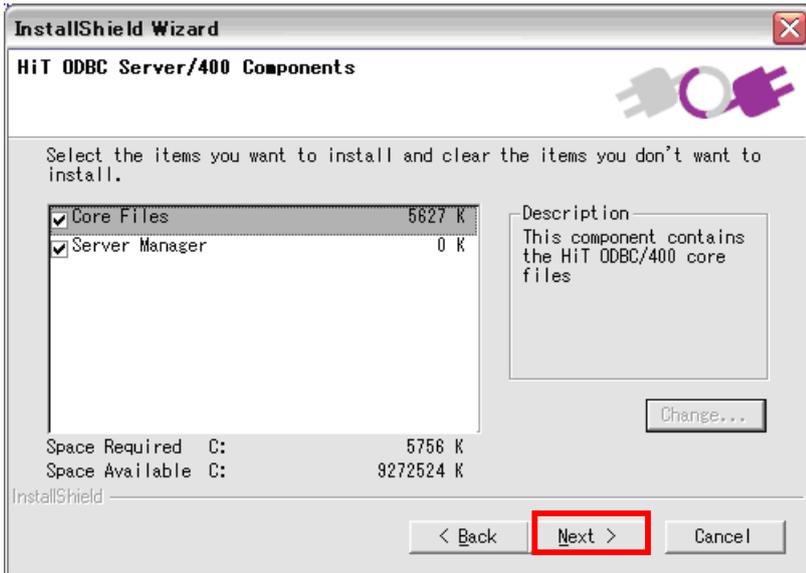
- ④ 使用する上での規約に同意できる場合は、「Yes」をクリックします。



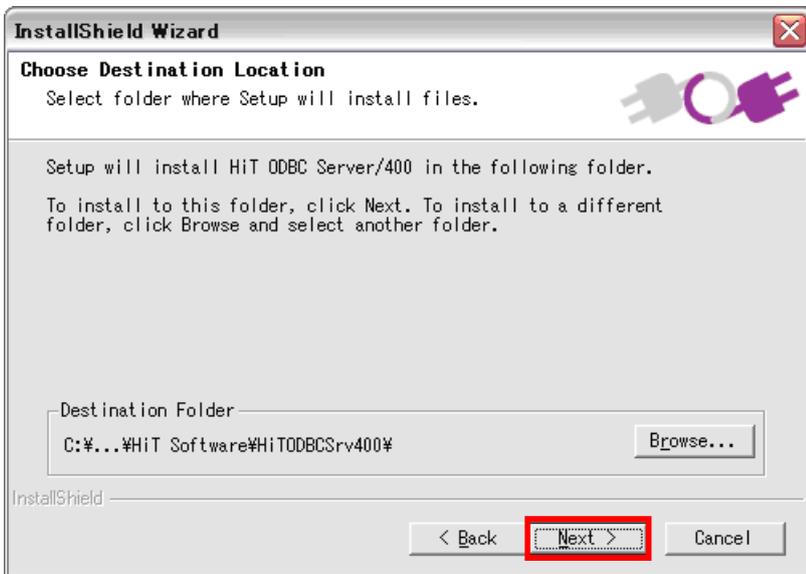
- ⑤ ライセンスキーを入力して「Next」をクリックします。



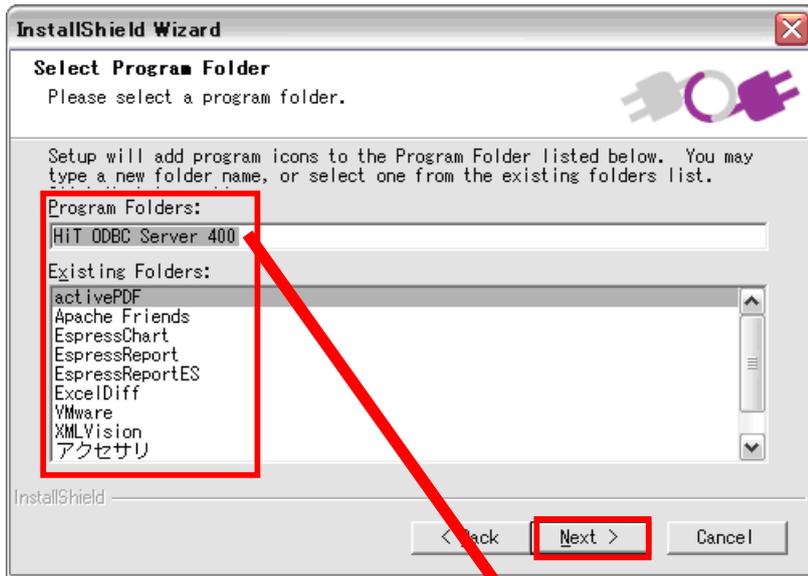
⑥ インストールしたい項目を選択し、「Next」をクリックします。



⑦ フォルダの作成箇所を選択し、「Next」をクリックします。



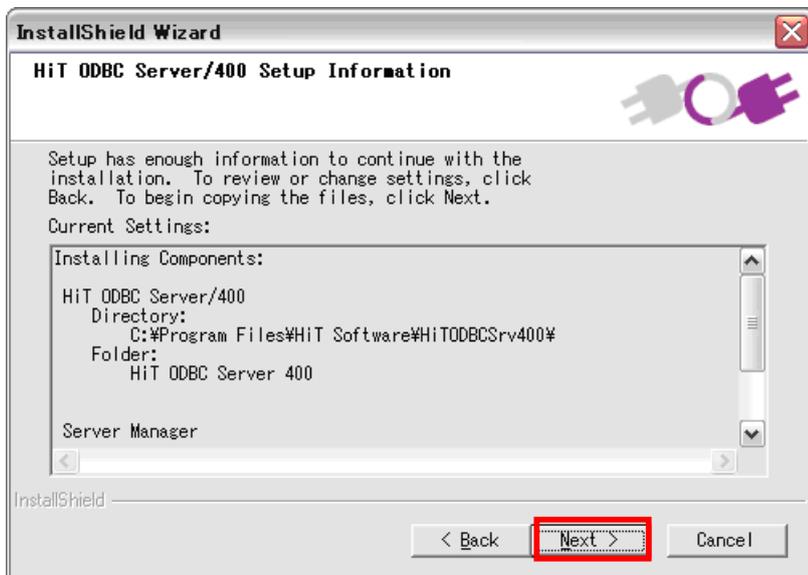
- ⑧ フォルダ名を入力します。Program Folders に名前を入力し作成するか(デフォルト : HiT ODBC Server 400) 既存のフォルダを選択します。「Next」をクリックします。



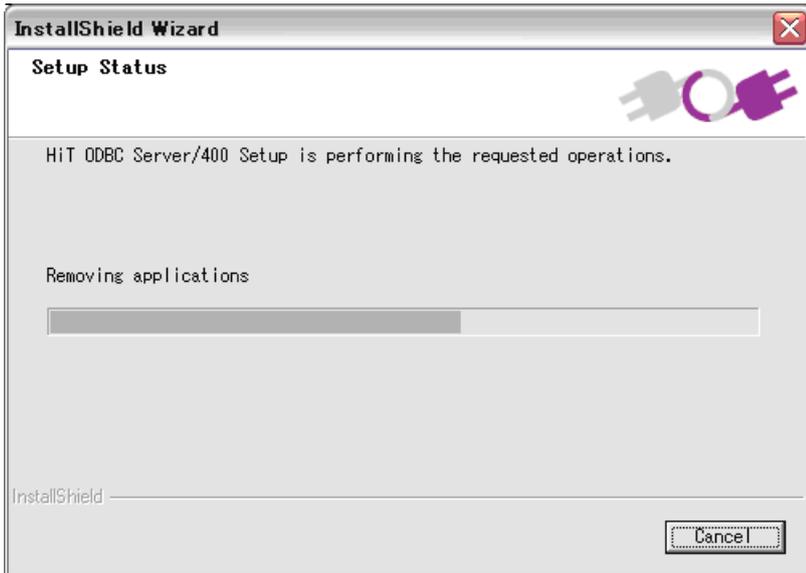
※入力した名前が反映されます。



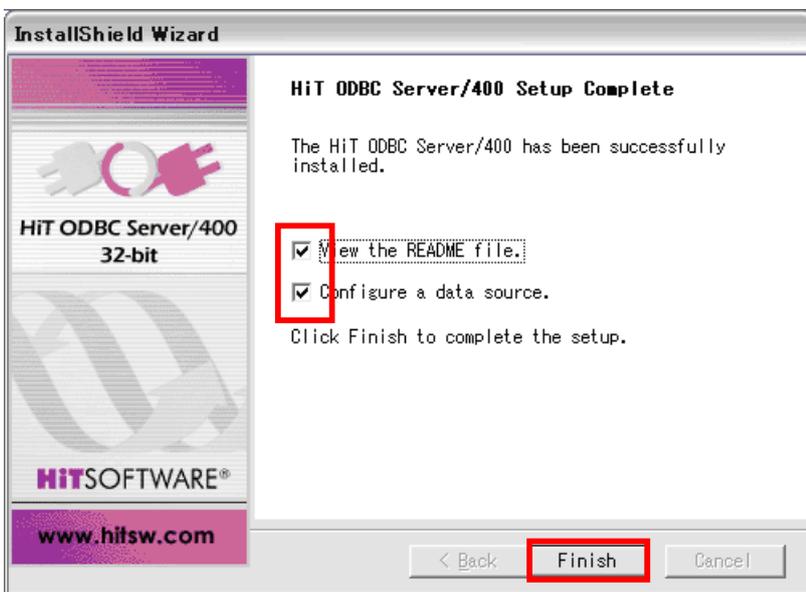
- ⑨ 概要を確認し、「Next」をクリックします。



⑩ インストールが開始されます。



⑪ 「Finish」をクリックします。



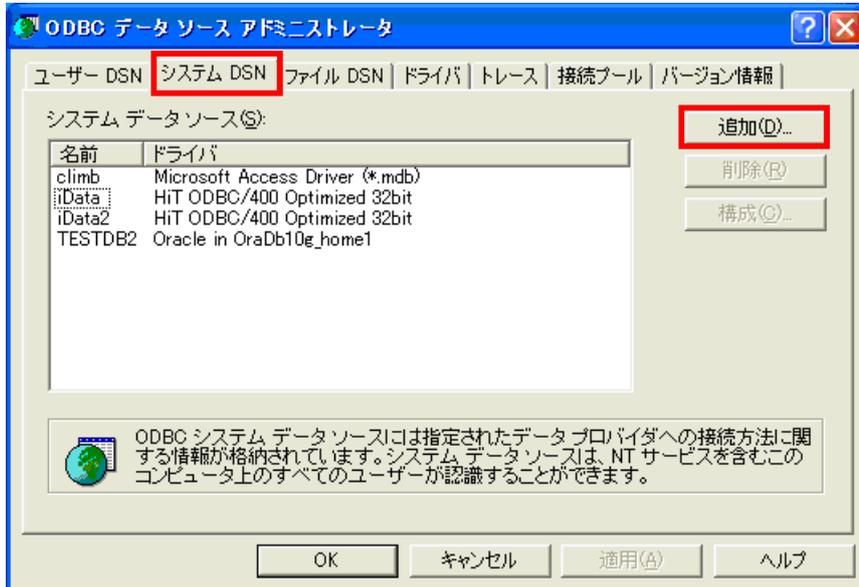
※「Finish」をクリック時に
「View the README file」にチェックがある場合は「Readme.txt」がオープンします。
「Configure a data source」にチェックがある場合は「ODBC データソースシステム
アドミニストレーター」がオープンします。

3. システムデータソースへの追加手順

3.1. 設定手順

HiT ODBC/400 の機能を使用する前に、データソースを作成します。

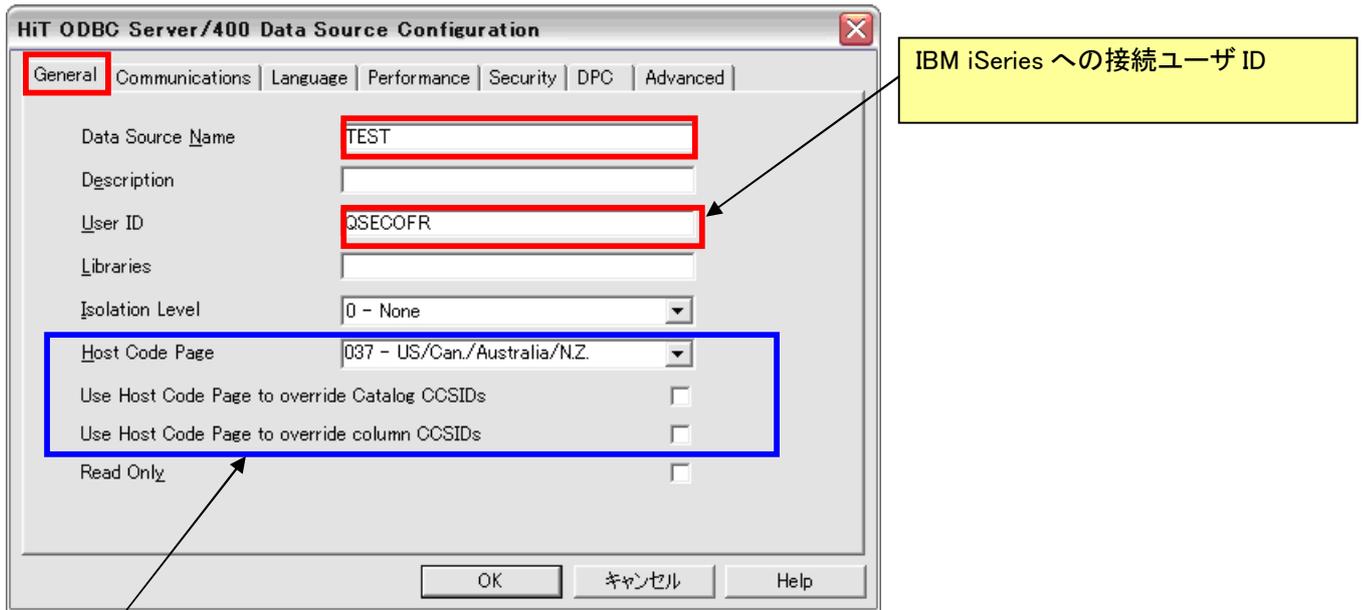
- ① コントロールパネル> 管理ツール> データソース(ODBC)> システムDSNタブで「追加」ボタンをお押下します。



- ② リストで「Hit ODBC/400 Optimized 32bit」ドライバを選択し、「完了」ボタンを押下します。



- ③ 「Hit ODBC/400 Optimized Data Source Configuration」画面が表示されます。
「General」タブに「Data Source Name」、「User ID」を入力して「OK」ボタンをクリックします。

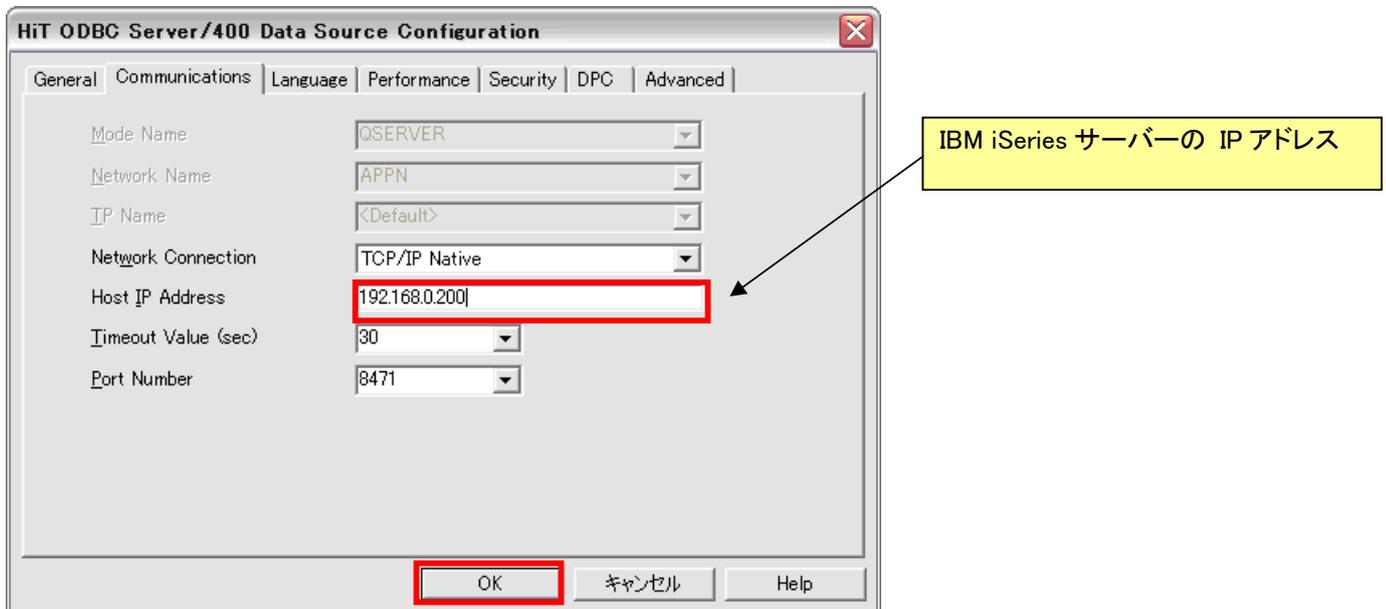


【補足】

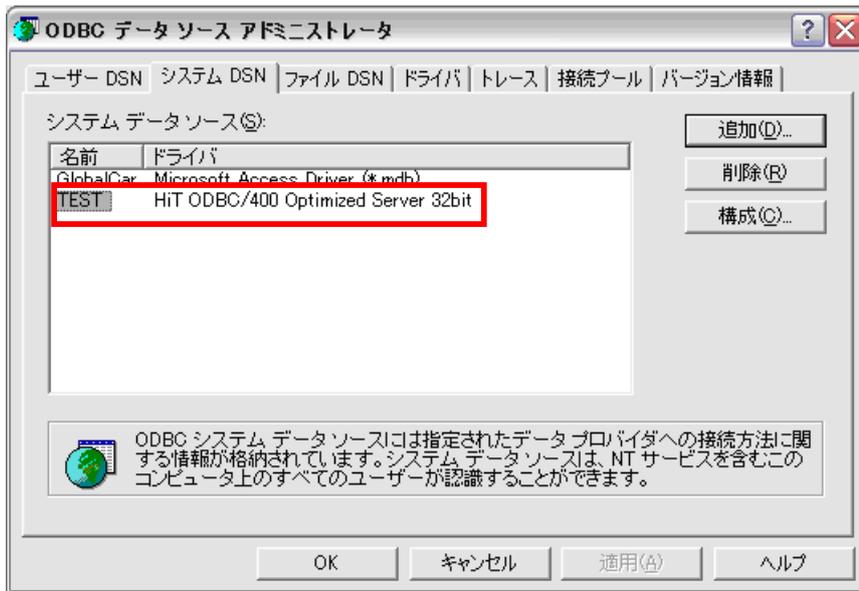
「Use Host Code Page to override Catalog CCSIDs」にチェックを入れた場合、Catalog の CCSID を「Host Code Page」のものに変換します。

「Use Host Code Page to override column CCSIDs」にチェックを入れた場合、フィールドの CCSID を「Host Code Page」のものに変換します。これにより、例えば本来 SBCS 専用のフィールドに DBCS が含まれている場合でも正しく表示できるようになります。(チェックを入れないと文字化けが発生します)

- ④ 「Communications」タブをクリックし、「Host IP Address」を入力して「OK」ボタンをクリックします。



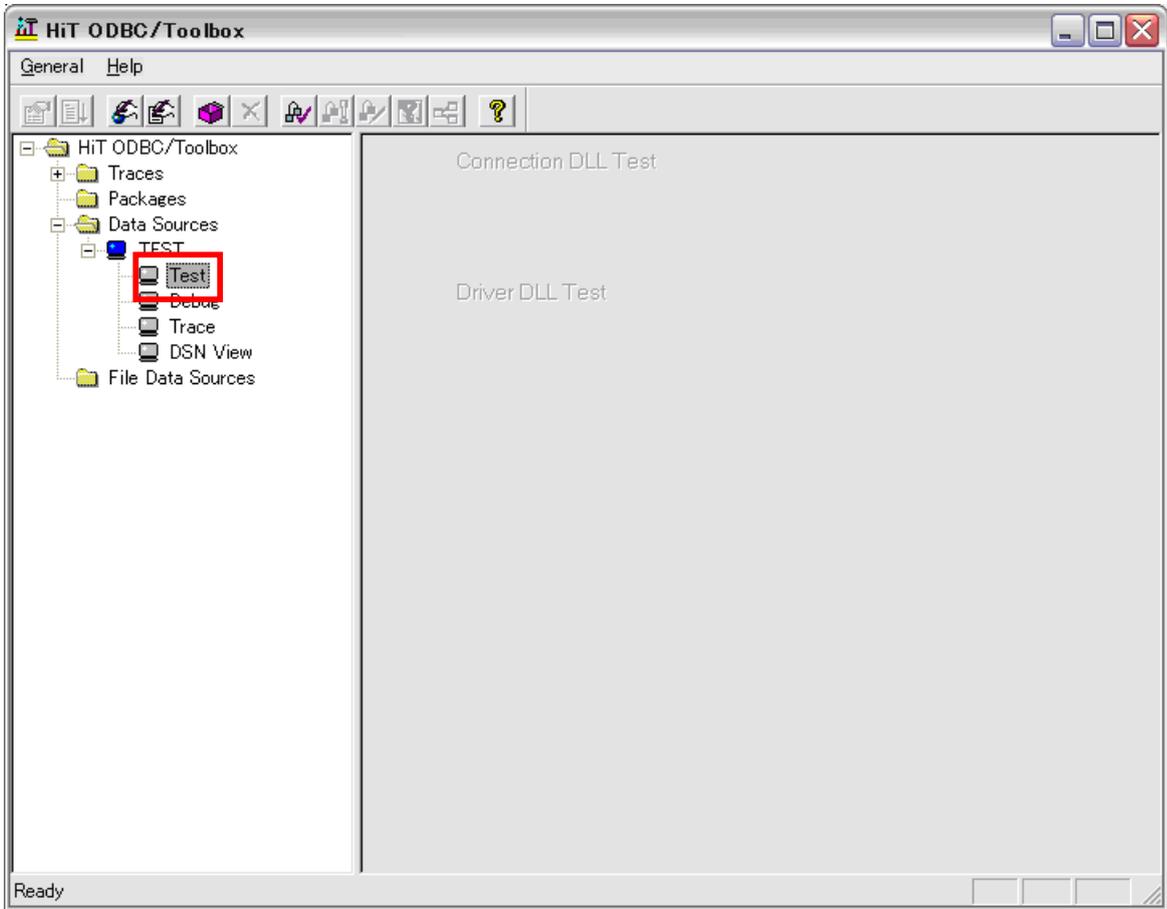
⑤ 以上でシステム DSN への追加作業の終了です。



4. 接続方法

4.1. 設定手順

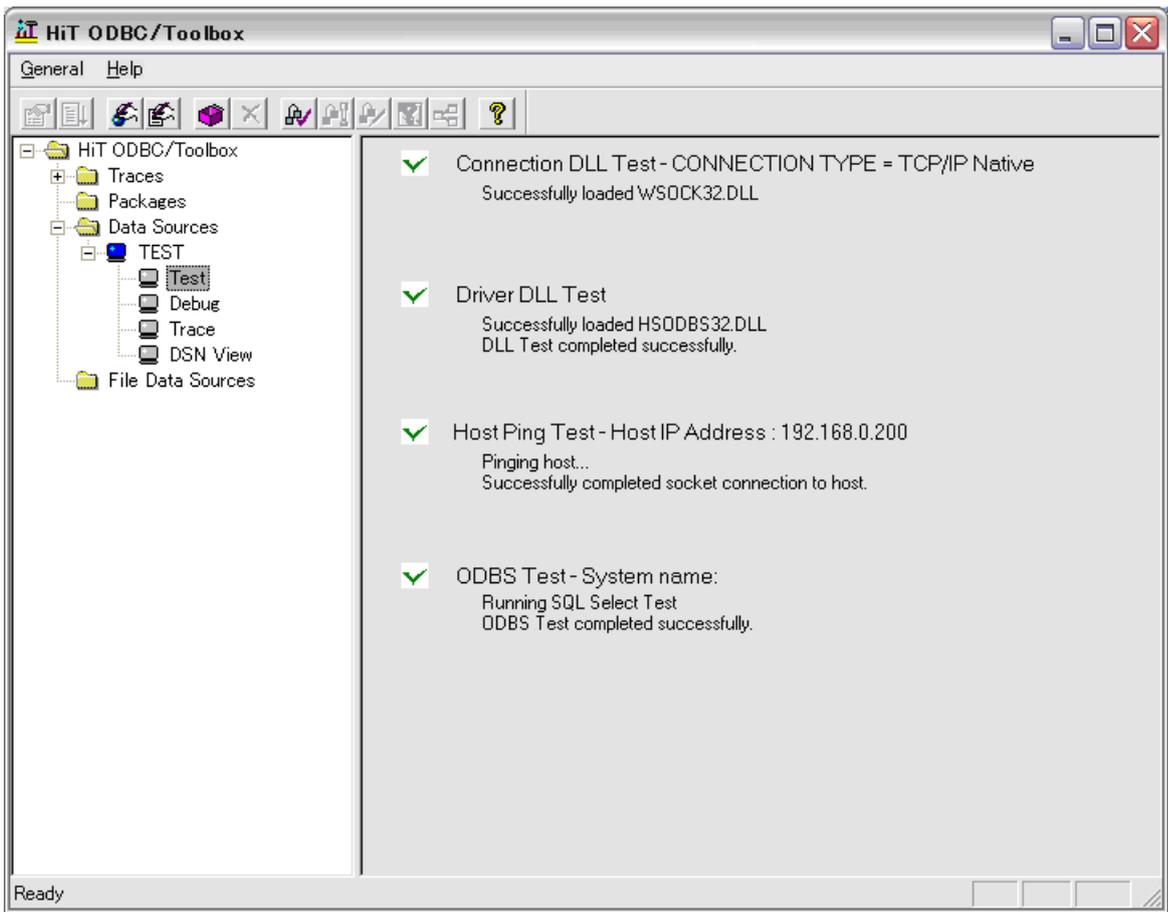
- ① 「スタート > プログラム > Hit ODBC/400 Toolbox」を起動します。左側のツリーメニューの「Data Sources」で該当するデータソースを選択してダブルクリックします。



- ② iSeries サーバーのユーザ ID とパスワードを入力します。



③ 接続は正常か確認情報が表示されます。

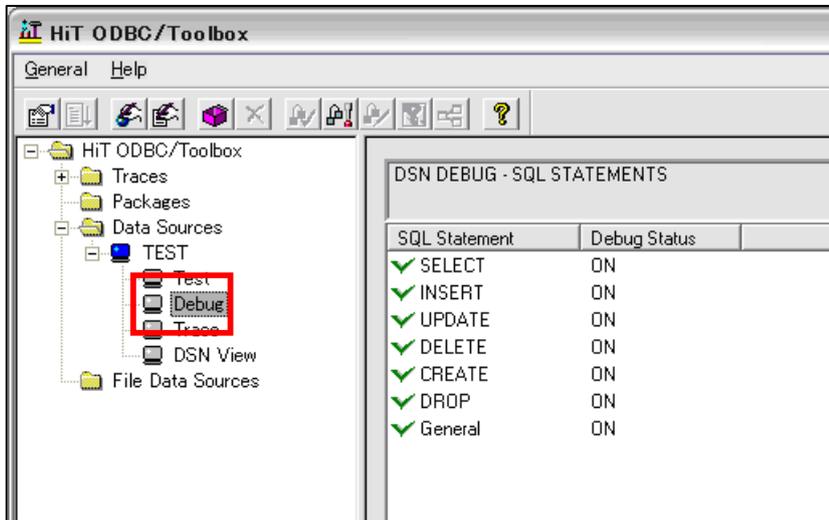


5. 設定方法

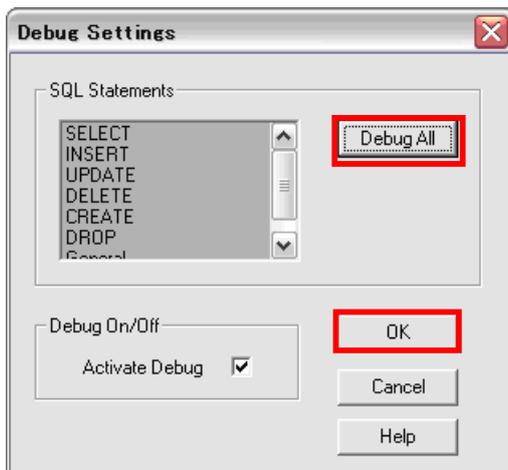
5.1. 設定手順

5.1.1. デバック機能について

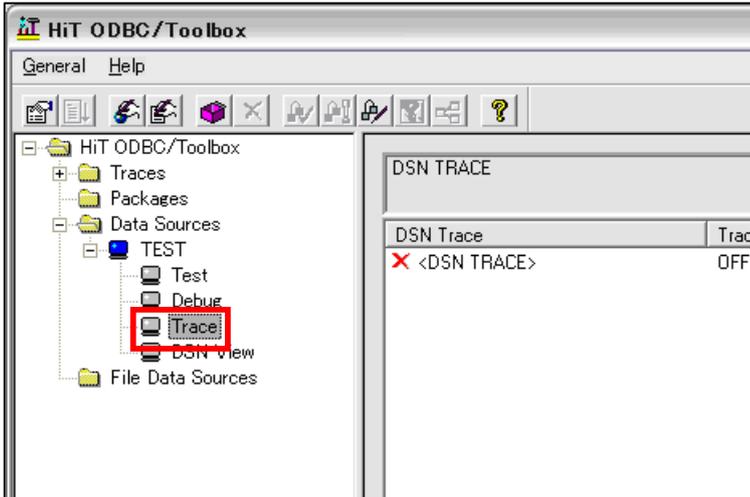
- ① デバック機能を使用可能にする場合は、「Debug」をダブルクリックします。



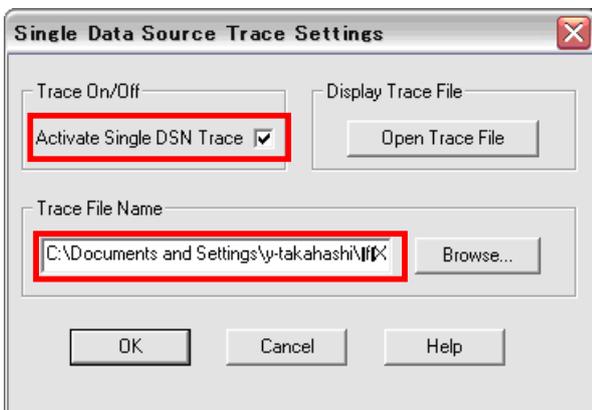
- ② 「Debug Settings」ダイアログで「Activate Debug」をチェックします。全部のデータベース・トランザクションのデバックを行ないたい場合は、「Debug All」ボタンを押下します。



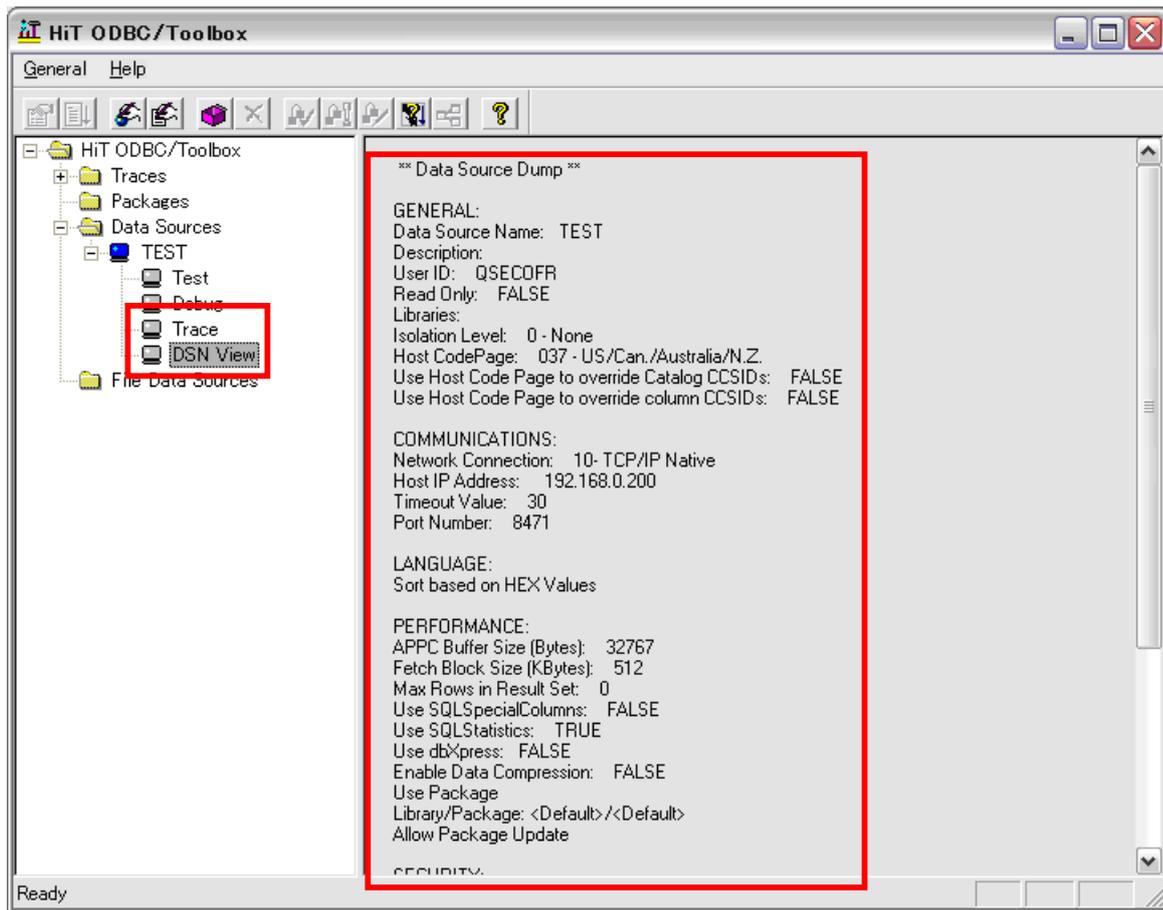
③ 「Trace」をダブルクリックします。



④ 右クリックして「Activate Single DSN Trace」をチェックすると、データソースの動作のトレースログを作成することができます。トレースログファイル名を「Trace File Name」に指定します。

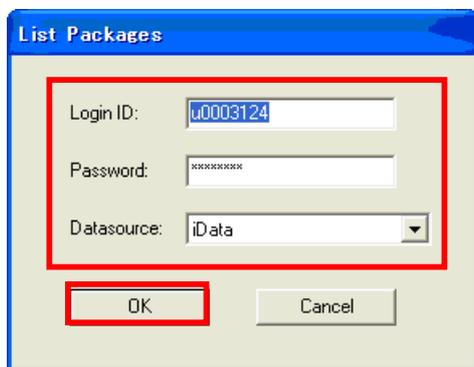


- ⑤ 「DSN View」を選択すると、データソースの設定情報が表示されます。

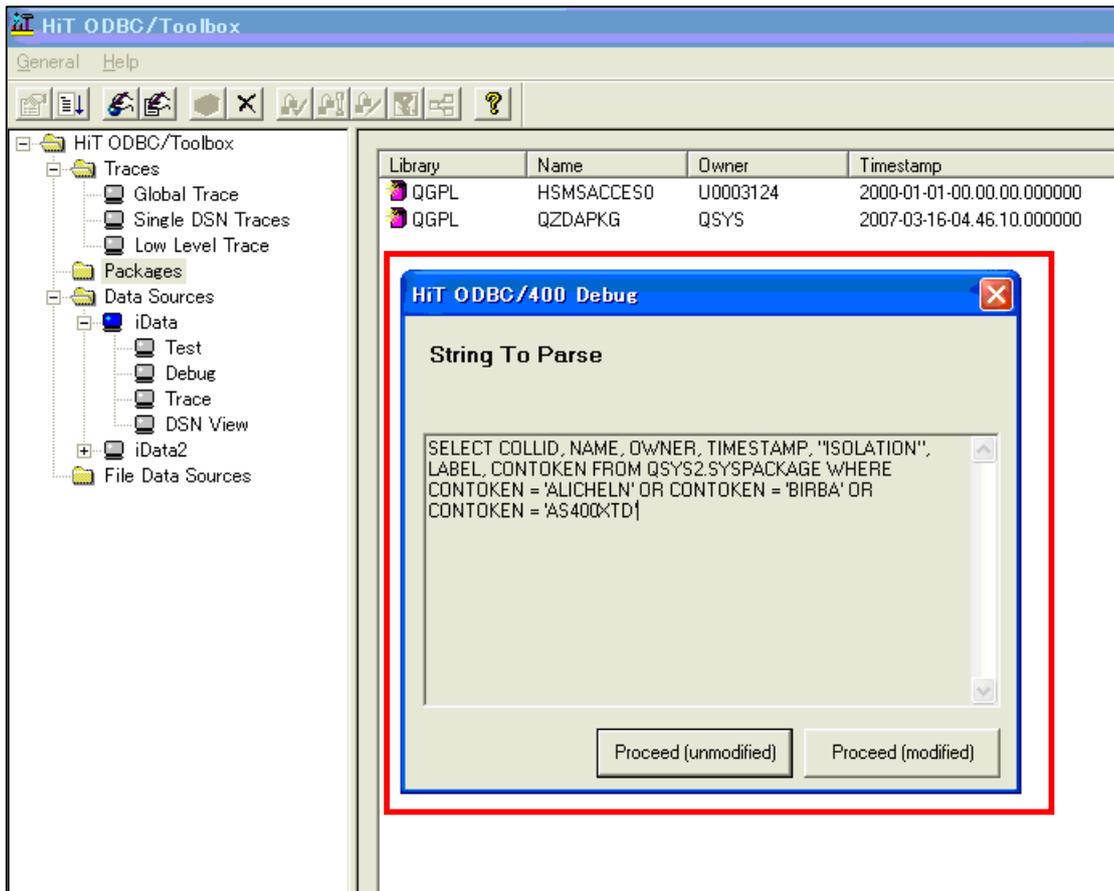


5.1.2. パッケージについて

- ① 左側のツリービューで「Packages」を選択し、ログインID、パスワード、データソースを指定したら、「OK」ボタンを押下します。



② 該当するパッケージが表示されます。パッケージを右クリックすると、デバッグモードでパッケージの更新又は削除処理を行なうことができます。



5.1.3. グローバルトレースログについて

① HiT ODBC/400 の操作トレースファイルを作成することができます。「Global Trace」を右クリックして、プロパティを選択します。「Global Trace Settings」ダイアログで「Activate Global Trace」をチェックして、「Trace File Name」テキストボックスでトレースファイルを指定します。

